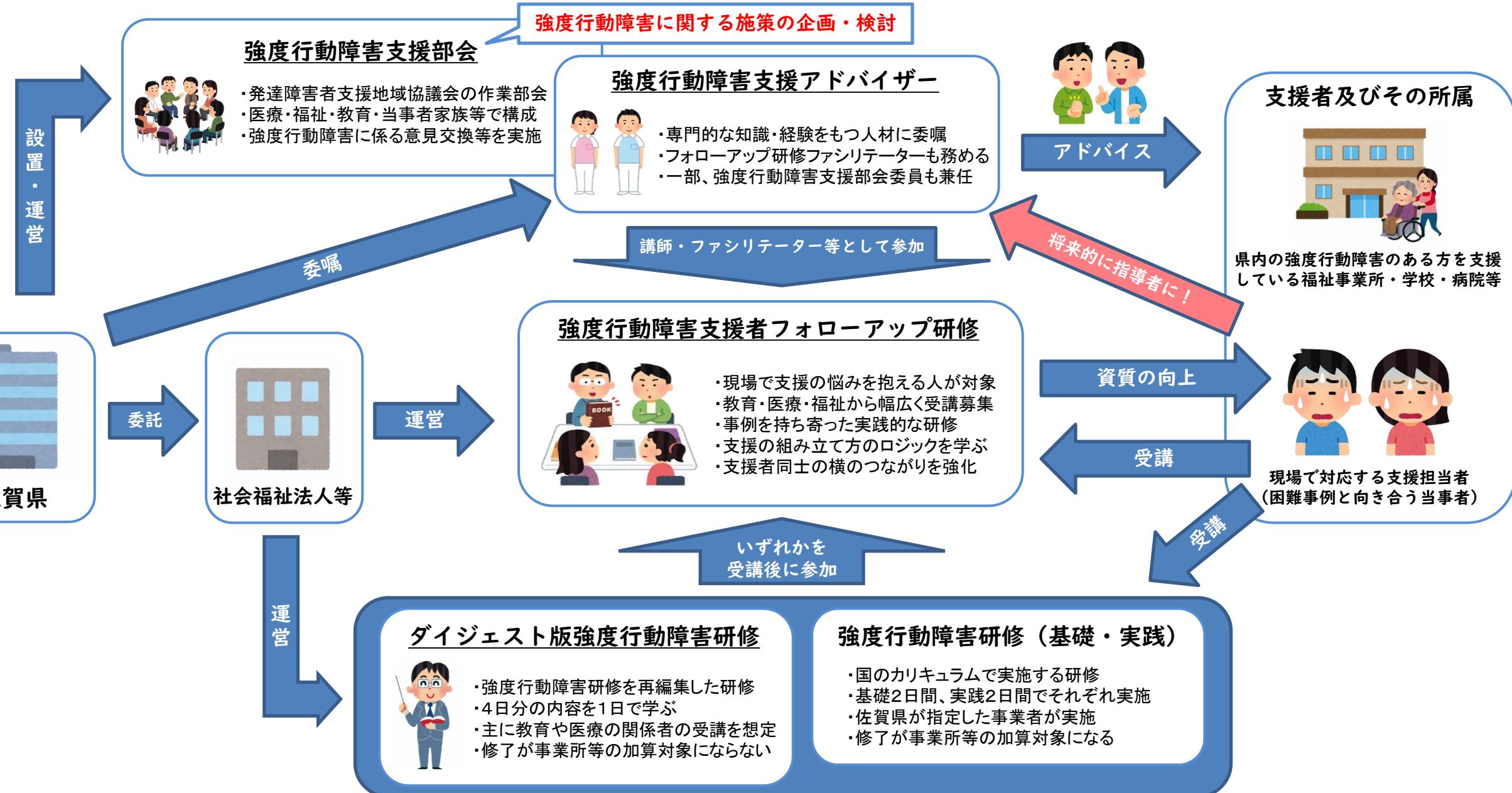


佐賀県強度行動障害支援者サポート事業について



強度行動障害支援者フォローアップ研修及びアドバイザー派遣について

年間を通じた連続した研修によりスキルアップを図る

強度行動障害支援者養成研修又はダイジェスト版研修の修了

事前課題作成

第1回強度行動障害支援者フォローアップ研修

- ・基礎講義①(管理者等の参加も求める)
- ・グループでの持ち寄った事例内容の共有

【計画】課題作成

→ 隨時アドバイス

第2回強度行動障害支援者フォローアップ研修

- ・基礎講義②③
- ・グループでの氷山モデルの内容共有

【実践】課題作成

→ 隨時アドバイス

第3回強度行動障害支援者フォローアップ研修

- ・基礎講義④
- ・グループでの支援実施の内容報告

【実践】課題作成

→ 隨時アドバイス

第4回強度行動障害支援者フォローアップ研修

- ・全体報告会(管理者等の参加も求める)
- ・グループでの振り返り
- ・研修総括

講師・スーパーバイザー・ファシリテーターによるアドバイス(通信又は支援現場への派遣)

強度行動障害支援者フォローアップ研修

◎事業の目的

- ・強度行動障害児者の支援に現場で携わっている者の知識や支援技術等の向上や医療・福祉・教育の他分野理解を深め、支援事業者間の連携強化などを図ることで、支援対象者及びその家族の負担軽減・不安解消・メンタルフォローにつなげる。
- ・現場において適切な支援を実施し、組織の中で適切な指導・助言を行う人材を計画的に育成していく。

◎事業の概要

- ・定員は20名程度。医療・福祉・教育の分野を問わず、積極的に働きかけて、幅広く受講者を募集する。
- ・全4回の集合研修を実施する。参加者2~3名とファシリテーター1名によるグループを形成し、同じメンバーで1年間学ぶ。また、2グループごとにスーパーバイザー1名についてもらい、複数の有識者から指導を受けられる体制をつくる。
- ・それぞれ現場で直面している事例を持ち寄り、その事例を基に実践的な研修を行い、支援の組み立て方のロジックを学ぶ。



◎事業の成果

- ・医療・福祉・教育の分野を超えた交流の創出。
- ・チームをまとめて、組織的に効果的・実践的な支援を行える支援者の育成。

◎今後の課題

- ・受講者が参加しやすく、職場が送り出しやすい研修運営(日程、カリキュラム等)。
- ・医療・福祉・教育の分野を超えた連携の更なる強化。
- ・本研修の受講者が将来的に指導者になれるよう育成する方法(ルート)の確立。

強度行動障害事業所に対するアドバイザー派遣

◎事業の目的

- ・強度行動障害児者支援に関する知識・経験を有する人材を「佐賀県強度行動障害支援アドバイザー」に任命し、困難事例等を抱える現場に派遣して、実際の支援現場で指導を行い、現状の改善及び支援者等のスキルアップを図る。

◎事業の概要

- ・強度行動障害フォローアップ研修の受講者の所属する事業所等に対してアドバイザー派遣を実施する。もしくは、通信による方法で相談に応じ、適宜アドバイスを行う。
- ・派遣する(相談に応じる)アドバイザーは、フォローアップで受講者のグループのファシリテーターを務めている者及びそのグループのスーパーバイザーを務めている者とする。なお、派遣の場合は、複数の目で見るため、原則2名以上で訪問する。
- ・派遣(相談)の回数について上限は定めない。

◎事業の成果

- ・アドバイザーが実際の支援現場に出向き、支援対象者や支援環境を見ながらのアドバイスを実施した。
(参考)令和6年度は、1月末時点で14事業所に対して延べ39名のアドバイザーを派遣。



◎今後の課題

- ・より積極的なアドバイザー派遣事業の利用促進。
- ・派遣対象事業所の拡大を検討(過年度のフォローアップ研修受講者の所属する事業所に行けるようにする等)。